

English Readings (高校2年)

1. 仮説

本課では、ビートルズの歌が国境を越えて、チェコスロバキアという異なる文化の中で革命のシンボルへと変容した軌跡をたどり、歌が人々に与える力について考察した。

このことを踏まえ自由と平和を希求する曲(John Lennon の Happy Christmas)を鑑賞し、そのメッセージを受け取る。そしてグループ活動を通して自らがメッセージを創作し発表することができる。

2. 実施内容

授業期間 平成25年4月～26年3月

時間 12月2日と4日

場所 高校2年の3組

(1) John Lennon の “Happy Xmas” を鑑賞し、和訳と自分の希望を表現する取組

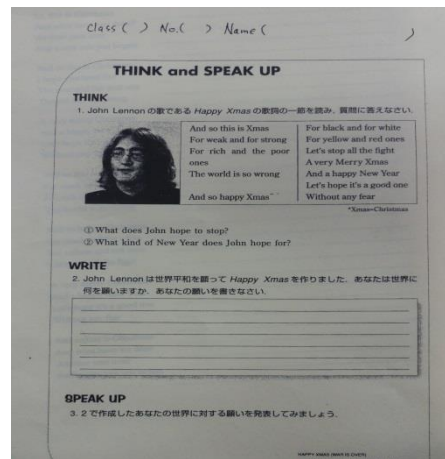
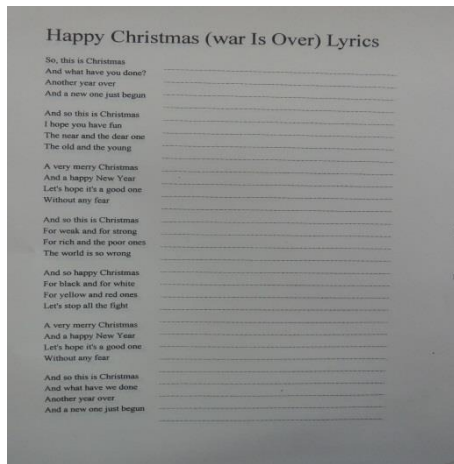
英語に親しむことは必須と考え、教科書10課を終えたのち、歌を通してその歌詞を自分たちで和訳し、その後自分たちが世界に望むことを表現することによりツールとしての英語を身近に感じてもらう。きちんとした試訳ではなく自分たちの表現力や発想の豊かな和訳を考えるように伝えた。

(2) 発表力をつける取組

授業の始まりから、日本語はできるだけ避け、英語で指示を行い、曲の作られた時代背景を考える。クリスマスについては個人でイメージが異なるので、私の人生経験から成長した年代に応じてその形も変化したことを説明した。そんな中で、できるだけ発表しやすい雰囲気を大切に、生徒のレベルに応じて、単語でも可とした。各グループでの話し合いの後、自分がこの世界に何を望むかのかについて英語で発表した。

3. 授業実践例 2学期末の学期末考査前に2時間行った時の授業風景





(2) 生徒の英語に対する実態調査 (単位は%)

英語が好きな教科ですか

	大好き	好き	普通	あまり好きでない	好きでない
好きな教科	7	14	27.5	24	27.5

英語は得意な教科ですか

	非常に得意	得意	普通	あまり得意でない	得意でない
得意な教科	0	7	21	31	41
	自信がある	ややある	普通	あまりない	ない
語彙力について	0	0	24	35	41
英文法について	0	0	28	31	41
英作文について	0	0	24	24	52
リスニングについて	0	14	21	24	41
話すことについて	0	3	21	35	41
コミュニケーションについて	0	0	24	31	45
発表について	0	0	21	24	55

(生徒の感想)

- ・リスニングが難しい ・英語が難しい
- ・英語は大事だと思うので、集中して授業に取り組んでいきたい
- ・今日の授業は楽しかった
- ・英語は得意とは言い難いけど、好きな科目です
- ・授業での訳をもう少し丁寧に言ってほしい

(3) 授業担当者の感想

今回のテーマは“歌”の背景にある文化や歴史を考えながら、英語の歌を鑑賞すること、そして自分たちで簡単な詞をグループ活動をしながら日本語に置きかえてみんなの前で発表すること、さらに自分の気持ちを英語で表現しながら発表すること、の3つ。授業中クリスマスを前に「Happy Christmas」の曲を鑑賞しながらグループ活動ができるか不安ではあったが、生徒は進んで発表もしてくれた。英語の授業の方向性での課題はアンケートの結果からももっと生徒が興味関心をもって授業に臨めるようにする必要がある。(クラスの半数以上が英語の対する興味がないという結果は異常である)今後高校2年生から3年生にかけて受験期に向かう中生徒中心の授業をいかに展開していくかが大きな課題となるように思う。

4 今後の課題

上記の感想で書いているが、大半の生徒が英語に苦手意識を持っているので、基礎力をベースに単語や文法の力を徹底する必要がある。その後思考力や表現力を伸ばしていきたいと思っている。3学期には映画など生きた題材を教材とすることも考えていく。